

## 令和5年11月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	2	議席 番号	19	氏名	植 松 健 一 議員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1	富士宮市の少子化対策について			<p>本年2月定例会の一般質問で当市の少子化対策について質問をした。国においては異次元の少子化対策を行うとし、子ども家庭庁を創設してはいるが、具体的な政策がなかなか見えてこない。そのような状況下、現在行われている、または、行おうとしている施策についての状況や成果を伺う。</p> <p>(1) 出会い・交流応援事業について。                      (2) 結婚新生活支援事業について。                      (3) 出産・子育て応援事業について。                      (4) 子ども医療費の無償化について。                      (5) トータルケア・アドバイザーを市に導入することについて。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長
2	市の情報発信のDX化について			<p>市はホームページやLINE、Facebook、X（旧Twitter）等のSNSを使用して多くの方々に情報発信を行っている。これから市民が情報を活用し、市民としての活動を行っていくにあたり、現役世代の積極的な参加や情報共有の効率化が必要不可欠となってくる。今後の市からの情報発信及び市民との情報共有において、デジタル化をどのように考えているか伺う。</p> <p>(1) 市の情報発信における配布物の必要性についてどのように考えているか。                      (2) 回覧や配布について自治会にお願いをしている現状であるが、その作業負担について。                      (3) 負担軽減の一つの手段としてデジタル化が必要と考えるがいかがか。                      (4) 区や町内会の自治会活動のデジタル化としてSNSの積極的な利用を研究してはどうか。                      (5) 災害時のリアルタイムでの情報発信として、メールやLINEなどが大きな効果を上げていると感じる。これらの高齢者への普及状況について。                      (6) 市内に居住、または、滞在する外国人に対してメールやLINEなどを使ったリアルタイムでの情報発信及び情報提供も必要と考える。今後RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の導入を考えてはどうか。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長